

「みんなの健活プロジェクト」のこれまでの実績について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2019年4月から本格展開している「みんなの健活プロジェクト」のこれまでの取組内容と実績についてお知らせいたします。

本プロジェクトは、「お客さま」「地域社会」「働く仲間（自社従業員）」の健康増進の取組みを継続的に支援するものであり、当社従業員による取組みの結果、約70%の従業員の健康診断結果が前年水準以上となるなど、すでに一定の成果を確認してまいりました（注1）。

ひとりだけでは継続することが難しい健康づくりに対し、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下、「Jリーグ」）等とも手を携え、参加しやすい運動の機会や気付きを促すさまざまなメニューを提供することで、プロジェクト参加者の健康への「意識」「行動」が前進しています。

今後も、当社はお客さまや地域社会のみなさまの健康づくりにいっそう貢献してまいります。

（注1）「自社従業員」の取組みについては、2020年6月22日リリース『「みんなの健活プロジェクト」を通じた当社従業員向けの取組みの総括について』を参照

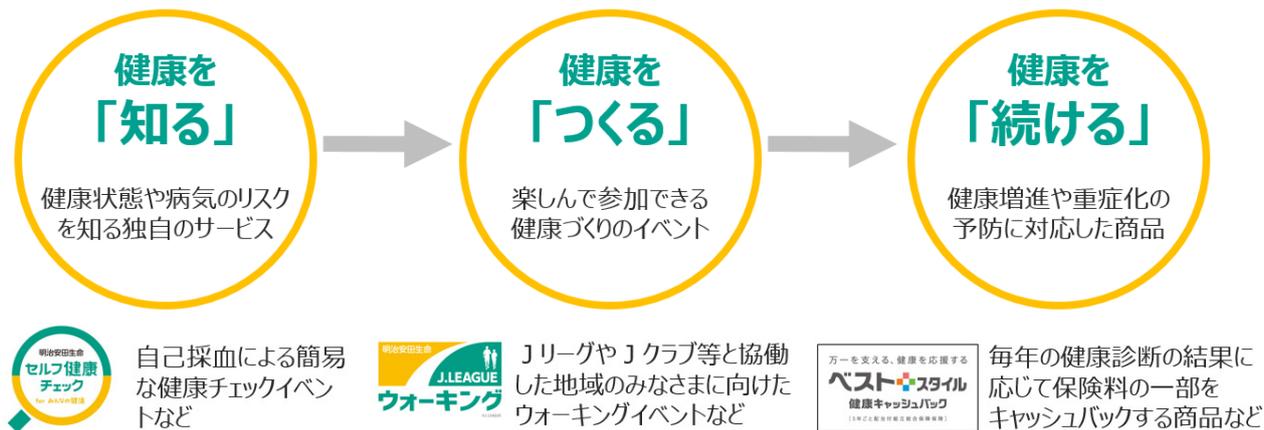
URL：https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200622_01.pdf

「みんなの健活プロジェクト」とは



健康を、いっしょに育てよう。

健康は大切だけど、ひとりで何かをはじめるのは難しいもの。「みんなの健活プロジェクト」は、健康を「知る」「つくる」「続ける」のステップにそってお客さまや地域社会のみなさまの健康づくりを応援します。



万を支える、健康を応援する

ベストスタイル

健康キャッシュバック

〔5年ごと配当付増設型生命保険〕

「ベストスタイル 健康キャッシュバック」の販売件数は、

2020年9月末時点で**55万件**を突破しました。（注2）

（注2）「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約」を付加した場合の販売名称です

お客さまと地域の「みなさま」の健康づくりを応援しています！

プロジェクト参加者の
の広がり

みんなの
健活
プロジェクト

「みんなの健活プロジェクト」に
のべ **127万人**の方にご参加いただきました



等

※主な健康増進アクションの2019年度開催状況は別紙参照

意識の変化

商品ご加入者向けアンケートでは
約 **6割**の方が**健康への意識が高まった**と回答されました

健康意識が高まった・やや高まった **61.0%**

もともと高く維持
22.7%

維持・変わらない
16.3%

行動の変化

健康への意識が高まった方のうち
約 **7割**の方が**健康に向けて行動が変わった**と回答されました！

▶ 特に変わった行動内容



回答率
1位

健康診断結果をよく見るようになった

2位

食事内容を気にするようになった

3位

ウォーキングを積極的に行なうようになった

1. プロジェクトのこれまでの実績について

(1) プロジェクト参加者の広がり

- ・「みんなの健活プロジェクト」として提供している「商品」「サービス」「アクション」の利用者（参加者）が、2020年9月末時点で延べ127万人（注3）に到達しました。当社のご契約者さまに加え、地域社会のみなさまもご参加いただくことで、プロジェクトの輪が広がっています。
- ・2020年5月からは、コロナ禍による生活環境の変化をふまえ、ご自宅での健康づくりを支援するオンラインコンテンツ「おうちで健活」をスタートしました。全国各地域において、ご自宅をはじめ場所や時間を選ばずに参加・体験いただくことが可能となっています。

◆「おうちで健活-LIVE-」（注4）

Jリーグ選手OBの播戸 竜二さん、Jリーグ選手の遠藤 保仁選手、元バドミントン日本代表の潮田 玲子さんにも講師として出演いただきました。



※上記は2020年9月16日（水）に撮影されたものです。

(注3) 2019年4月～2020年9月末までの健康増進アクションの参加人数（「おうちで健活」含む）、
「Jリーグウォーキングアプリ」のユーザー数、健康増進型商品加入者数（個人・法人）の延べ人数

(注4) 「みんなの健活プロジェクト」公式サイトにて動画を掲載

URL : <https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ld/kenkatsu/>

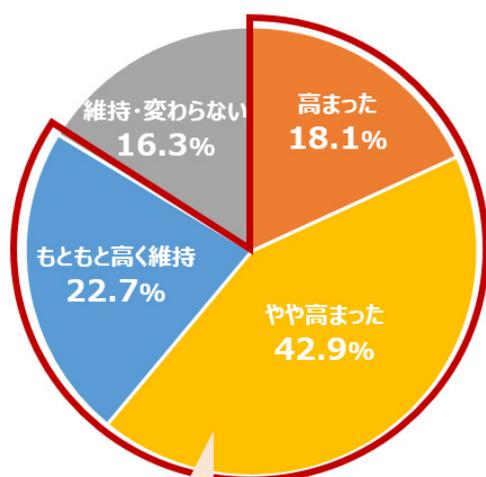
(2) 健康への「意識」の変化

- ・ 2020年5月に実施した「ベストスタイル 健康キャッシュバック」加入者向けアンケートでは、約6割の方から、「商品加入をきっかけに健康意識が高まった」との回答をいただき、「加入前から意識が高かった」との回答と合わせると、8割以上の方が健康への意識を高く持っている（持つようになった）ことがわかりました。
- ・ 特に、健康増進型商品に加入し健康診断結果をご提出いただいたお客さまにご提供している「MY健活レポート（注5）」を閲覧した方の意識変化の割合は、閲覧していない方と比べて2割程度高く、同レポートが健康に対する意識の変化や気付きにつながっていることを確認しました。

(注5) 「ベストスタイル 健康キャッシュバック」のご加入者専用の健康情報サイト。毎年、「健康サポート・キャッシュバック」をお受け取りいただくためにご提出された健康診断結果のデータをもとに、お客さま一人ひとりに応じた健康増進に役立つ情報・アドバイスをまとめて表示

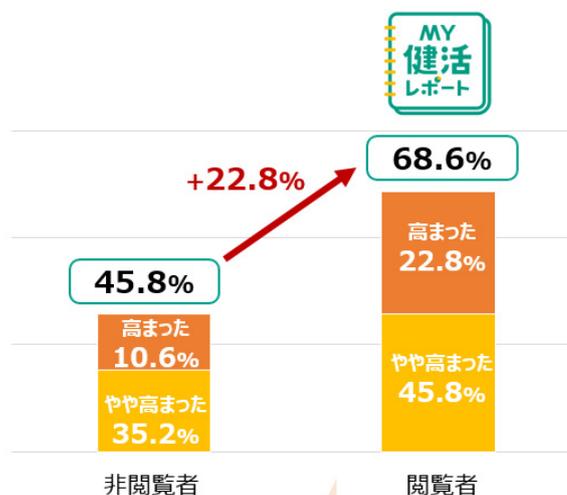
◆健康への意識の変化（注6）

<全体回答>



「もともと高く維持」と回答した方を含めると
83.7%の方が健康への意識を高く持っています

<「MY健活レポート」確認別の回答状況>



「MY健活レポート」閲覧者は、非閲覧者と比較して
健康意識の割合が**22.8%**高いことがわかりました

(注6) 「ベストスタイル 健康キャッシュバック」商品ご加入者アンケートより、「ベストスタイル 健康キャッシュバックのご加入をきっかけに健康増進への意識が高まりましたか」の設問への答え

(3) 健康に向けた「行動」の変化

- ・同アンケートにより、「健康意識が高まった」と回答された方のうち、約7割の方から実際に健康に向けて行動が変わったとの回答をいただいています。
- ・特に変わった行動内容として、「健康診断結果をよく見るようになった」「食事内容を気にするようになった」「ウォーキングを積極的に行なうようになった」が挙げられ、自身の現在の健康状態を確認したり、「食事」や「運動」など日常的な行動を変えられた方が多いことが伺えます。

2. 課題とプロジェクトの今後のめざす姿

このように、健康への「意識」の変化が「行動」を促し、効果の実感につながるというプロセスを確認できた一方、本プロジェクトが取り組むべき課題も明らかになっています。

(1) コロナ禍による環境変化をふまえた態勢づくり

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染防止の観点から大規模な集会やイベント等について従来どおりの運営が困難となっています。当社でもこれまでに地域のみなさまに多くのイベントを開催し、好評をいただいておりますが、より安全な運営に配慮し、安心してご参加いただける態勢づくりに取り組んでまいります。

(2) 人々の行動の変化をふまえた対応

- ・また、健康づくりに向けた行動においても、対面や集合という方式に加え、「密」を避けながら手軽にできる「ウォーキング」や、自宅でできるヨガや体操など、個々のタイミングやスタイルにあわせた取組みが選好される傾向にあります。
- ・当社においても、すでに「Jリーグウォーキングアプリ」やオンライン型の「おうちで健活」などを展開しておりますが、みなさまの健康づくりをサポートする取組みのバリエーションのさらなる拡大をめざしてまいります。

(3) 多様なニーズに応える健康づくりのサポートの拡充

- ・このような環境変化に伴い、健康づくりを身近でサポートすることを趣旨とする本プロジェクトに求められる役割はますます高まると認識しています。例えば、健康への意識の変化や気付きに効果的な「MY健活レポート」は、対面以外でのご案内の要望も増加しています。
- ・今後は、電話やLINE等を活用したコミュニケーションや「MY健活レポート」の内容充実と操作性向上など、対面と非対面の融合により、お客さまのご意向や環境に適合した「新しい寄り添い方」で多様なニーズにお応えしてまいります。

なお、2021年4月に第2フェーズを迎える本プロジェクトは、「早期発見」「重症化予防」に対応した新たな商品・サービスをラインアップするなど、幅広いニーズにお応えするプロジェクトに進化し、お客さまや地域のみなさまの健康づくりをサポートしてまいります。

以上

このニュースリリースは保険募集を目的としたものではありません。

詳細は、商品発売以降、保険設計書（契約概要）やコンセプトパンフレット等でご確認ください。

別紙

◆主な健康増進アクションの2019年度開催状況

イベント	開催回数	参加人数
Jリーグウォーキング	34回	10,790人
フットサルフェスタ	75回(※1)	6,748人
ゴルフトーナメント	136回(※2)	6,417人
みんなの健活ヨガ	12回	624人
セルフ健康チェック	180回	4,008人

(※1) うち予選大会65回、地区大会9回、全国決勝大会1回

(※2) うち支社大会120回、地区大会15回、全国決勝大会1回